

2018年度 第1回

経済・経営学会研究会のお知らせ

日時：12月6日(木)14時-17時

場所：10号館第二大会議室

14時-15時

大都市の中小企業はどの金融機関と取引していたのか？
—『名古屋商工名鑑』の分析—

新井 大輔 氏 (経済学部准教授)

高度成長期に見られた金融の「二重構造」(都銀は大企業への資金供給に専念し、中小企業金融は主として信金などの「専門機関」が担うという構図)は、都銀の中小企業向け貸出が急増する1980年代以降に大きく変容する。本報告では、1967年版と1991年版の『名古屋商工名鑑』(名古屋商工会議所編纂)を用いて、こうしたマクロ的、平均的イメージを、地域レベルで詳細に検討する。

15時-15時30分

質疑応答・コーヒープレイク

15時30分-16時30分

20世紀アメリカ西部の水資源
—開発・管理と地域経済—

名和 洋人 氏 (経済学部准教授)

農業・工業・都市用水、水力発電、環境保護、レクリエーションなど、河川は様々な需要への対応を迫られてきた。水資源の開発、またその配分はいかに行われたのか。深刻な水不足に見舞われつつも発展を遂げたカリフォルニア州の経験から探りたい。

16時30分-17時

質疑応答

※参加自由・事前申し込み不要

連絡先：経済・経営学部資料室(内線 3427) 友田